

令和 6 年度

富岡市額部地域づくりセンター
事業計画書

令和 6 年 4 月

額部地域づくりセンター概要 (R6.4.1 現在)

開館年月日	平成3年12月	構造	鉄筋コンクリート造2階建て
延べ床面積	400 m ²	敷地面積	2,382.09 m ²
駐車台数	34台	指定避難所指定の有無	有
対象面積	22.5 km ²	校区 (小・中学校)	額部小、南中
対象人口	2,714人	対象世帯数	1,148世帯
前年度利用件数	2,226件	前年度利用者数	10,437人
1件当たり利用者数	4.7人	住民1人当たり利用回数	3.8回

施設内容

部屋の名称	定員	面積	備考 (設備その他)
1階 会議室	30人	42.84 m ²	
1階 実技実習室	20人	37.72 m ²	
1階 図書室	10人	17.48 m ²	
2階 第1学習室	40人	34.02 m ²	
2階 第2学習室	30人	25.92 m ²	
2階 大会議室	60人	83.94 m ²	スクリーン
合計	190人	241.92 m ²	

連絡・問合せ

所在地 富岡市南後箇1183番地

TEL 0274-62-0311

FAX 0274-62-0311

E-mail nukabe-ko@city.tomioka.lg.jp

アクセス 車：(高速利用) 上信越自動車道富岡IC料金所から市道インター西通り線、県道198号線、193号線利用で4km6分

(国道利用) 国道254号バイパス生涯学習センター入口交差点から県道218号線、198号線、193号線利用で4km6分。

国道254号七日市交差点から県道198号線、193号線利用で3km5分

電車：上信電鉄西富岡駅下車、タクシー利用で6分

第2次富岡市総合計画後期基本計画、教育行政方針、後期基本計画掲載の地域づくり計画（額部地区）、地域づくり課経営方針等との整合性を図りながら、より良い地域づくり、持続可能な地域づくりを進めるため、令和6年度額部地域づくりセンターの事業計画を策定します。

1 地域づくりセンター運営の基本方針

人口減少や少子高齢化が進む中において、学びと地域づくりの活動拠点として、地域に愛され、気軽に利用される地域づくりセンターを目指します。

2 地域づくり条例及びみんなの地域づくり基本指針

安心して暮らし続けられる地域社会の実現を図ることを目的に、地域づくり条例（令和4年4月1日施行）を策定しました。条例は、地域づくりの考え方を示すほか、活動しやすい仕組みづくりに努める等、行政側に重点を置いた理念条例として取りまとめました。

また、条例の中に地域づくりに関する基本指針を位置付け、総合的かつ計画的に施策を推進することとしています。

◇みんなの地域づくり基本指針

目標1 地域を知ろう（関心を持とう）

目標2 地域について話し合おう（自分ごとにしよう）

目標3 地域づくりに関わろう（参加・行動・輪を広げよう）

3 上位施策及び上位方針

（1）第2次富岡市総合計画後期基本計画

◇将来像 「世界遺産にふさわしいまち とみおか」

第4章 生涯学習活動の充実

4年後にめざす姿

- ・いつでもどこでも学べる環境が整備され、すべての市民が生涯を通じて学ぶ喜びを享受しています。
- ・学んだ知識が新たなコミュニティの創造や交流につながり、活気ある地域づくりが進んでいます。

施策の展開

- 1 学習機会の拡充
- 2 学習成果を活かす仕組みの拡充
- 3 社会教育活動の推進

第6章 市民協働による地域経営の推進

4年後にめざす姿

- ・市民、地域づくり団体及び市が、地域課題を自分ごととして受け止め、解決に向けて力を発揮しあっています。
- ・地域活動に主体的にかかわる若者が増え、活動が活発化しています。

施策の展開

- 1 「地域経営」の推進
- 2 地域を担う人材育成の推進
- 3 地域づくり協議会を核とした地域づくりの推進

(2) 令和6年度 教育行政方針

◇基本理念

「自立し共生できる市民の育成を目指した教育を推進する。」

◇基本方針

- 3 生涯学習活動の充実
- 5 歴史・伝統・文化資源の保存と活用

◇重点施策

- 3 生涯学習活動の充実
 - (1) 学習機会の拡充
 - (2) 学習成果を還元する仕組みの拡充
 - (3) 社会教育活動の推進
- 5 歴史・伝統・文化資源の保存と活用
 - (1) 文化財の保存と活用
 - (2) 次代への継承

(3) 第2次富岡市総合計画 地域づくり計画 額部地区

◇地域の将来像

だれもが安全に安心して住み続けられる地域づくり

◇地域づくりビジョン

急激な人口減少期に入り、人口増加の展望が開けない中であって、高齢者が元気に健康体操やグラウンドゴルフなど軽スポーツを楽しむ姿が、地区のあるべき姿を物語っています。

一過性の流行や単発のイベントでは、決して住みやすい地域づくり、地域の課題解決にはつながりません。地域づくりは、だれもが、安全に安心して住み続けられるための地域をつくること。それには、背伸びをせず、人口減少や少子高齢化にも慌てず、惑わされず、健康寿命を延ばし、いざという時は、安心して助けを借りることができる共助の仕組みを整えることが重要で、そのための活動を一歩ずつ進めていきます。

- 1 安全・安心事業
- 2 地域福祉事業
- 3 心と体の健康づくり事業
- 4 総務・広報事業

(4) 令和6年度 地域づくり課経営方針

◇課の方針

「富岡市版 市民自治の確立」～安心して暮らし続けられる地域の実現～

◇課の目標

- 1 安心して暮らし続けられる地域の実現
- 2 地域住民の意思を反映した地域づくり活動の推進

4 地域の経過、現状、課題

額部地区は、市の南西部に位置し、のどかな田園風景と山林が広がる緑の多い地域です。

急激な人口減少期に突入し、少子高齢化も顕著になっていることから、人口減少対策として、現状を受け入れ、住みやすい地域づくりを目指すのか、人口を増やし、活気を取り戻すために空き家や移住・定住対策に力を入れるのかなど、地域の将来像を描くことについて、大きな岐路に立っています。

製造業や運送業、福祉施設などが増え、雇用機会が拡充されていることは、地域にとって明るい兆しです。半面、主産業であった農林畜産業の担い手が、高齢化等により減少し、山林の荒廃や休耕地の増加を招き、鳥獣被害が深刻化しています。

富岡製糸場、妙義山と並ぶ市の重要観光資源である群馬サファリパークや大塩湖を地区内に有しながら、地域の活性化につなげられていないことも課題の一つとなっています。

地域づくり協議会を設立して8年経過しますが、認知度が上がらない理由の一つに、役員任せのイベント主体の活動が挙げられます。住民一人ひとりが地域課題を自分ごと化するための地域課題解決型への転換が急がれます。

5 地域づくりセンターの目標

コロナを経て、再び地域活動が活発に行われるようになりました。

令和6年度は、地域づくりの拠点としての機能が拡充された地域づくりセンターとしての位置づけを確立し、幅広い世代の地域住民が積極的に利用できるような環境作りに努めます。

以下に、令和6年度の目標として6項目を掲げます。

- (1) 住民のニーズに沿った主催教室の企画・開催
- (2) 住民の主体的な取り組みによる地域課題解決のための活動支援
- (3) 地域づくり協議会活動の自立支援
- (4) 積極的な広報活動
- (5) 円卓会議を活用し、地域課題解決に向けたニーズを発掘
- (6) 安全安心に利用できるための施設管理

6 重点事業

目標達成のための以下の事業を重点事業として取り組みます。

地域づくりの拠点

- ① 事業名：お休み処「ぬかべのわ」

上位施策：総合計画第6章1～3、地域づくりビジョン4、センター目標(2)(4)

事業内容：1階会議室を利用予約がない場合に限り『お休み処「ぬかべのわ」』として開放し、住民の交流の場、地域の情報交換の場を提供します。

学びの拠点

- ① 事業名：額部生きがい塾

上位施策：総合計画第4章1、第6章2、センター目標(1)

事業内容：60歳以上の住民を対象とした高齢者学級「生きがい塾」を開催し、様々な分

野の講座を通して、健康で文化的な生活を送るためのきっかけを提供します。

② 事業名：学習スペースの提供

上位施策：総合計画第4章1、地域づくりビジョン3

事業内容：お休み処「ぬかべのわ」と併せ、利用予定のない部屋を、自主学习を希望する住民向けに開放します。

施設管理運営

① 事業名：円卓会議の開催

上位施策：総合計画第6章1・2・3、地域づくりビジョン1～4、センター目標(2)(5)(6)

事業内容：地域住民の率直な意見や要望を吸い上げ、アクションを実現できるよう、地域住民と協働して地域づくりを進めていきます。

② 事業名：避難訓練

上位施策：センター目標(6)

事業内容：消防計画に基づき消火・避難訓練を実施します。

7 主な事業計画

(1) 地域づくりの拠点

① 地域活動支援（会議・イベント・交流会等）

区分	事業名	内容・ねらい	対象	回数	実施予定	施策
交流	お休み処「ぬかべのわ」【重点事業①】	1階会議室を利用予約がない時間帯に限り開放。住民の憩いの場として、またボランティア活動を含む様々な情報発信や共有の場として整備し、地域を活性化する。	地域住民	適宜	適宜	総6-1～3、セ

② 団体活動支援（会議・研修等）

区分	事業名	内容・ねらい	対象	回数	実施予定	施策
支援	地域づくり協議会運営支援	協議会の事務局を行い、地域づくり活動が円滑に行えるようにする。	地域づくり協議会	適宜	適宜	総6-1～3

(2) 学びの拠点

①学級・講座等

区分	事業名	内容・ねらい	対象	回数	実施予定	施策
高齢者	額部生きがい塾 【重点事業①】	高齢者の生きがいづくり。いろいろなジャンルの活動を行い、自分に合った生きがいを探す。	60歳以上	6	5月～3月	総4-1・3、セ
一般 高齢者	歯と口の健康づくり講座 【企業連携】	「額部生きがい塾」内にて実施予定。歯と口をはじめとした健康づくりの基本について学ぶ。	60歳以上	1	未定	総4-1、セ
親子 女性 一般	各種料理教室 (骨太、親子、男性、働き世代)	料理を通して家族の絆を深め。食育(食品ロス、健康な体づくり、生産者への感謝の心等育てる)推進する。	制限なし	1	8月・10月・12月・1月	総4-1・2
親子 青少年	こども体験教室	様々な実験やものづくり体験を通して、学ぶことの大切さや楽しさを体感する	小学生	2	夏季(7・8月)及び冬季(12・1月)休暇期間	総4-1、セ

②学習支援(展示会・発表会、学習相談・学習情報提供・自主学习等)

区分	事業名	内容・ねらい	対象	回数	実施予定	施策
自主	学習スペースの開放【重点事業②】	自主学习のための部屋開放(解放できる部屋・時間等は予約状況により変動)。	地域住民	適宜	適宜	総4-1、セ

(3) 施設管理運営

①施設運営(円卓会議・広報活動・職員研修、評価等)

区分	事業名	内容・ねらい	対象	回数	実施予定	施策
円卓	円卓会議 【重点事業①】	地域のニーズを反映した運営を行うために、話し合いと	地域住民	3～4	未定	総6-1～3

		意見を聴く場として開催する。				
広報	地域づくりセンターだより「月刊ぬかべ」の発行	地域の話題や活動団体、学習グループ等を積極的に取り上げ、郷土愛を深める。	地域全戸	12	毎月1日発行	総4-1・3、総6-1~3
広報	公式ラインの活用	地区団体のイベントや主催事業の周知に加え、地域に関するタイムリーな話題を発信する。	地域住民	適宜	適宜発信	総4-1・3、総6-1~3

②施設維持管理（施設整備・環境整備・避難訓練等）

区分	事業名	内容・ねらい	対象	回数	実施予定	施策
訓練	避難訓練 【重点事業②】	消防計画に基づき消火・避難訓練を実施する。	地域づくりセンター職員・地域住民	2	5月・10月	総6-1~3